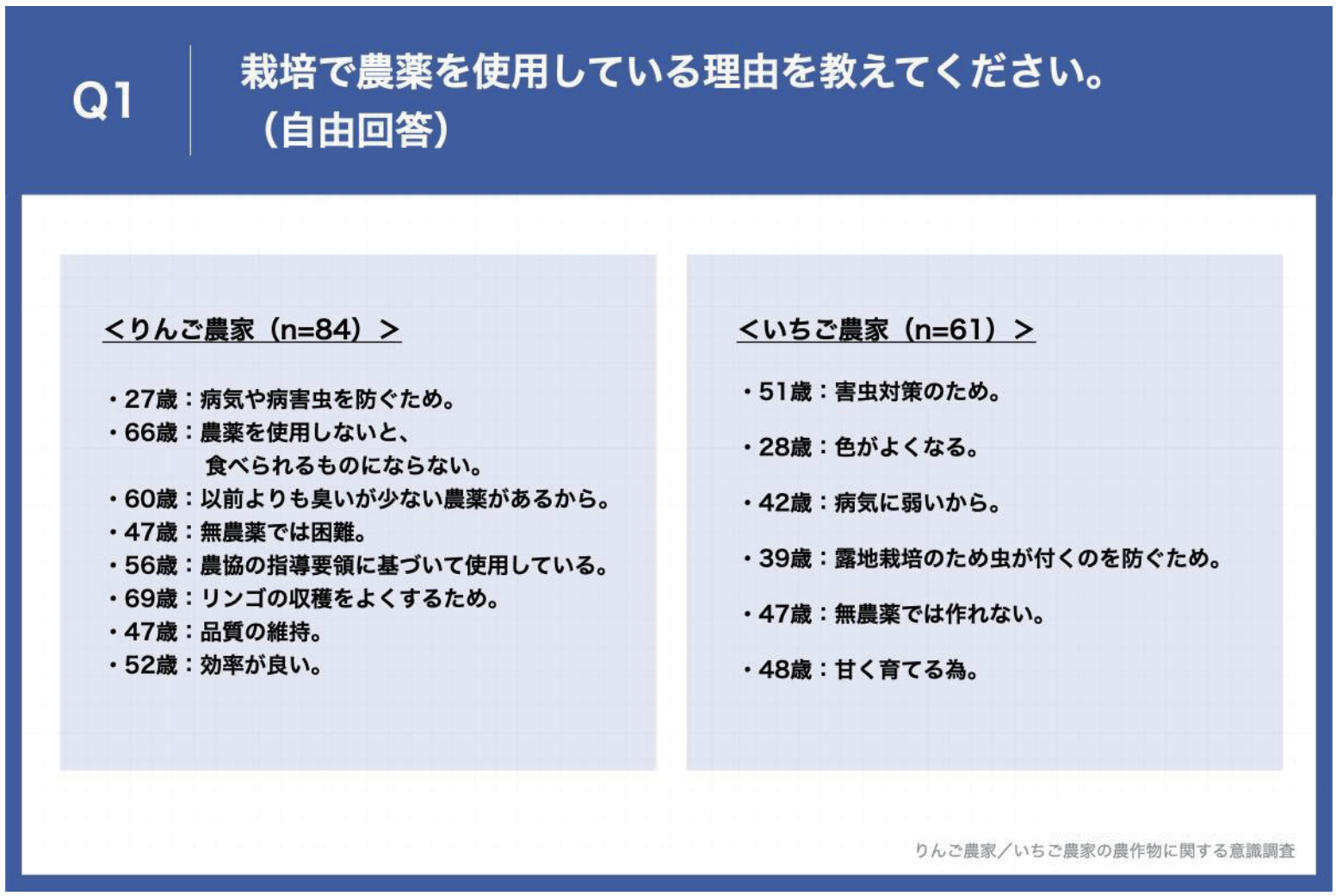
■調査概要

調査概要：りんご農家 / いちご農家の農作物に関する意識調査
調査方法：インターネット調査
調査期間：2022 年 6 月 16 日～同年 6 月 18 日
有効回答：栽培時にこれまで慣行農法（農薬を主に使用）を取り入れてきた、
りんご農家 84名といちご農家 61名
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

■農薬を使用する理由、「病気や病害虫を防ぐため」や「品質の維持のため」など

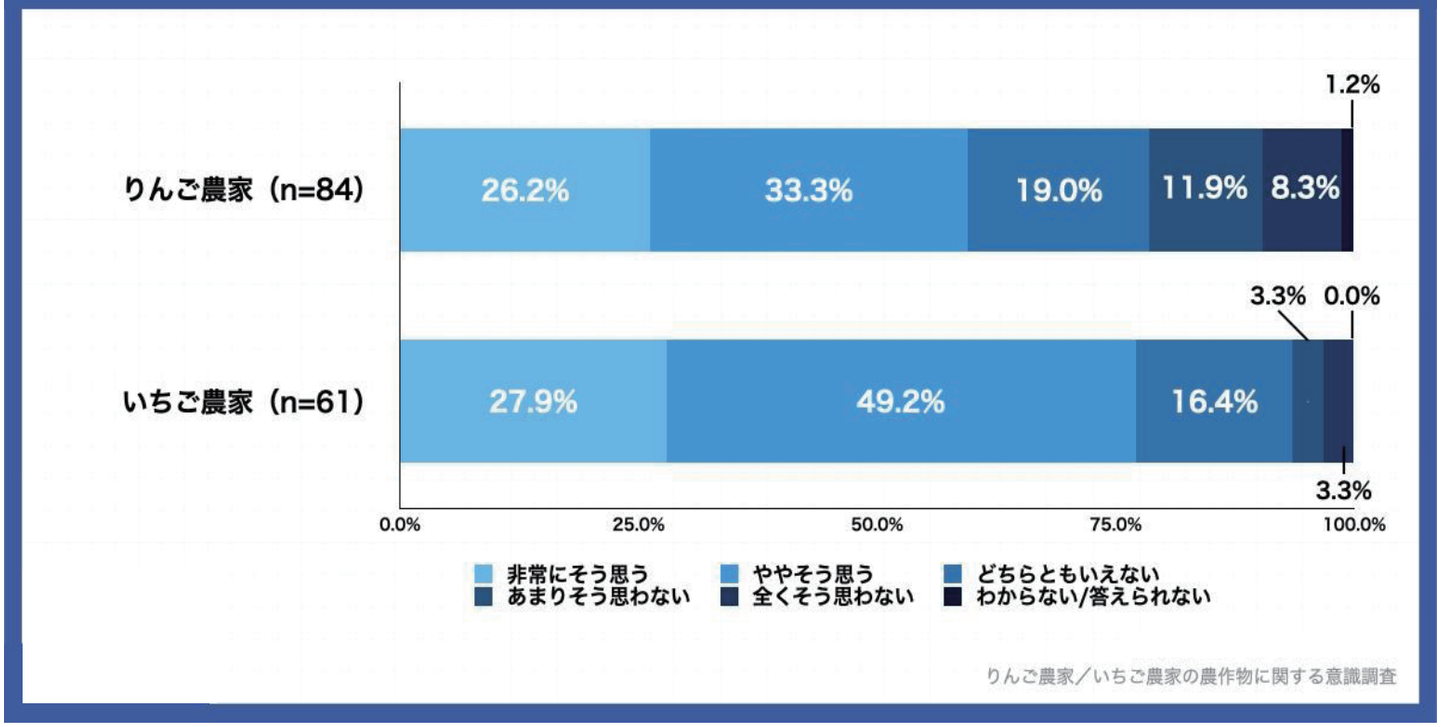
「Q1. 栽培で農薬を使用している理由を教えてください。（自由回答）」と質問したところ、りんご農家（n=84）からは「病気や病害虫を防ぐため」や「農薬を使用しないと、食べられるものにならない」、いちご農家（n=61）からは「害虫対策のため」や「色がよくなる」などの回答を得ることができました。



■59.5% のりんご農家、77.1% のいちご農家が「農薬不使用にしたい」と回答

「Q2. あなたは、できることなら「農薬不使用」での栽培を行いたいと思いますか。」と質問したところ、りんご農家（n=84）からは「非常にそう思う」が 26.2%、「ややそう思う」が 33.3%、いちご農家（n=61）からは「非常にそう思う」が 27.9%、「ややそう思う」が 49.2% という回答となりました。

Q2 あなたは、できることなら「農薬不使用」での栽培を行いたいと思いますか。

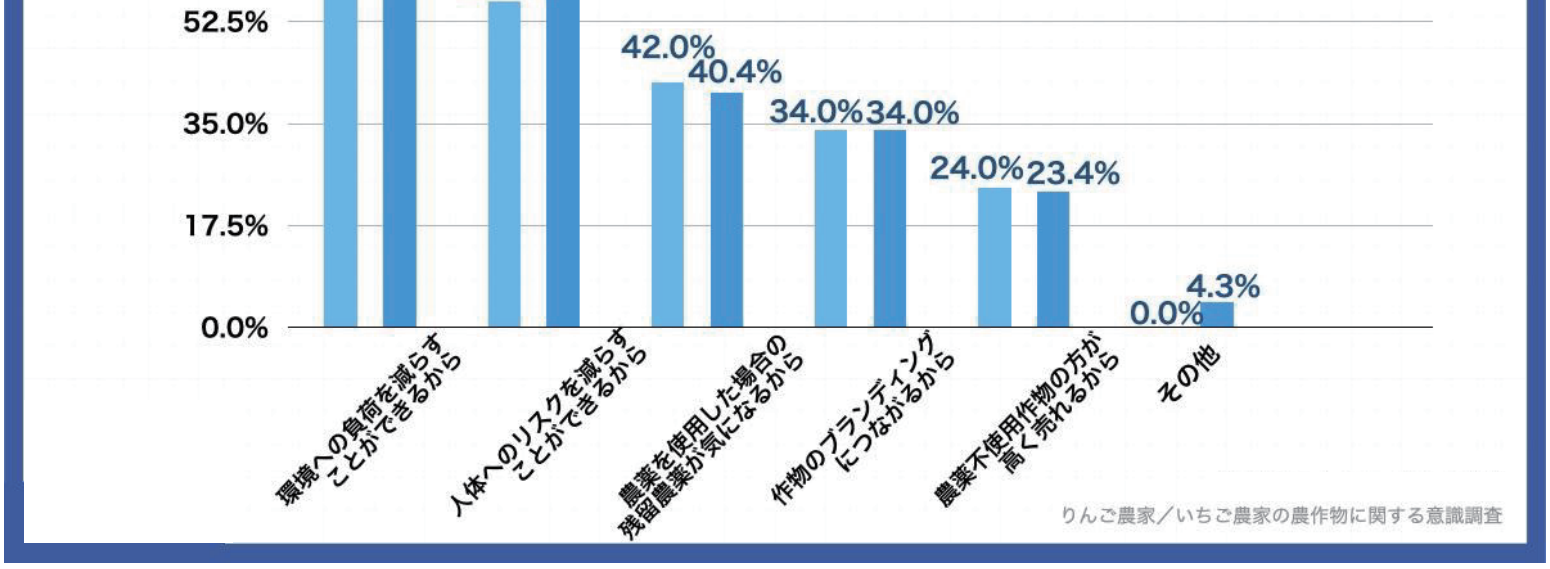


りんご農家／いちご農家の農作物に関する意識調査

■農薬不使用にしたい理由、りんご農家の第１位「環境への負荷軽減」、いちご農家の第１位「人体へのリスク軽減」

Q2 で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した方に、「Q3.「農薬不使用」での栽培を行いたいと思う理由を教えてください。（複数回答）」と質問したところ、りんご農家（n=50）からは「環境への負荷を減らすことができるから」が 66.0%、「人体へのリスクを減らすことができるから」が 56.0%、「農薬を使用した場合の残留農薬が気になるから」が 42.0%、いちご農家（n=47）からは「環境への負荷を減らすことができるから」が 59.6%、「人体へのリスクを減らすことができるから」が 61.7%、「農薬を使用した場合の残留農薬が気になるから」が 40.4% という回答となりました。

Q3 Q2で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。「農薬不使用」での栽培を行いたいと思う理由を教えてください。（複数回答）



■他にも、りんご農家／いちご農家ともに「農薬不使用」により「人にやさしく健康的で美味しい作物を作りたい」との声

Q3 で「わからない / 答えられない」以外を回答した方に、「Q4.Q3 で回答した以外に、「農薬不使用」での栽培を行いたいと思う理由があれば、自由に教えてください。（自由回答）」と質問したところ、りんご農家（n=50）からは「人にやさしい食品を提供したいから」や「農薬代や機械代がかかる」、いちご農家（n=47）からは「健康的でおいしいいちごを栽培したい」や「洗わずにそのまま食べたいから」などの回答を得ることができました。

Q4　Q3で回答した以外に、「農薬不使用」での栽培を行いたいと思う理由があれば、自由に教えてください。（自由回答）

＜りんご農家（n=50）＞

- 64歳：人にやさしい食品を提供したいから。
- 51歳：農薬代や機械代がかかるので。
- 60歳：本来は農薬は必要ないと考えている。
- 41歳：農薬散布の手間がなければもっと作れる。
- 51歳：付加価値をあげるため。
- 47歳：農薬を使うと近隣の住宅に迷惑なので。
- 48歳：環境保護。
- 66歳：りんご栽培は、基本的に農薬を使用しないとできないが、将来の影響（健康被害）を考えると、少しでも農使用を減らしたい。

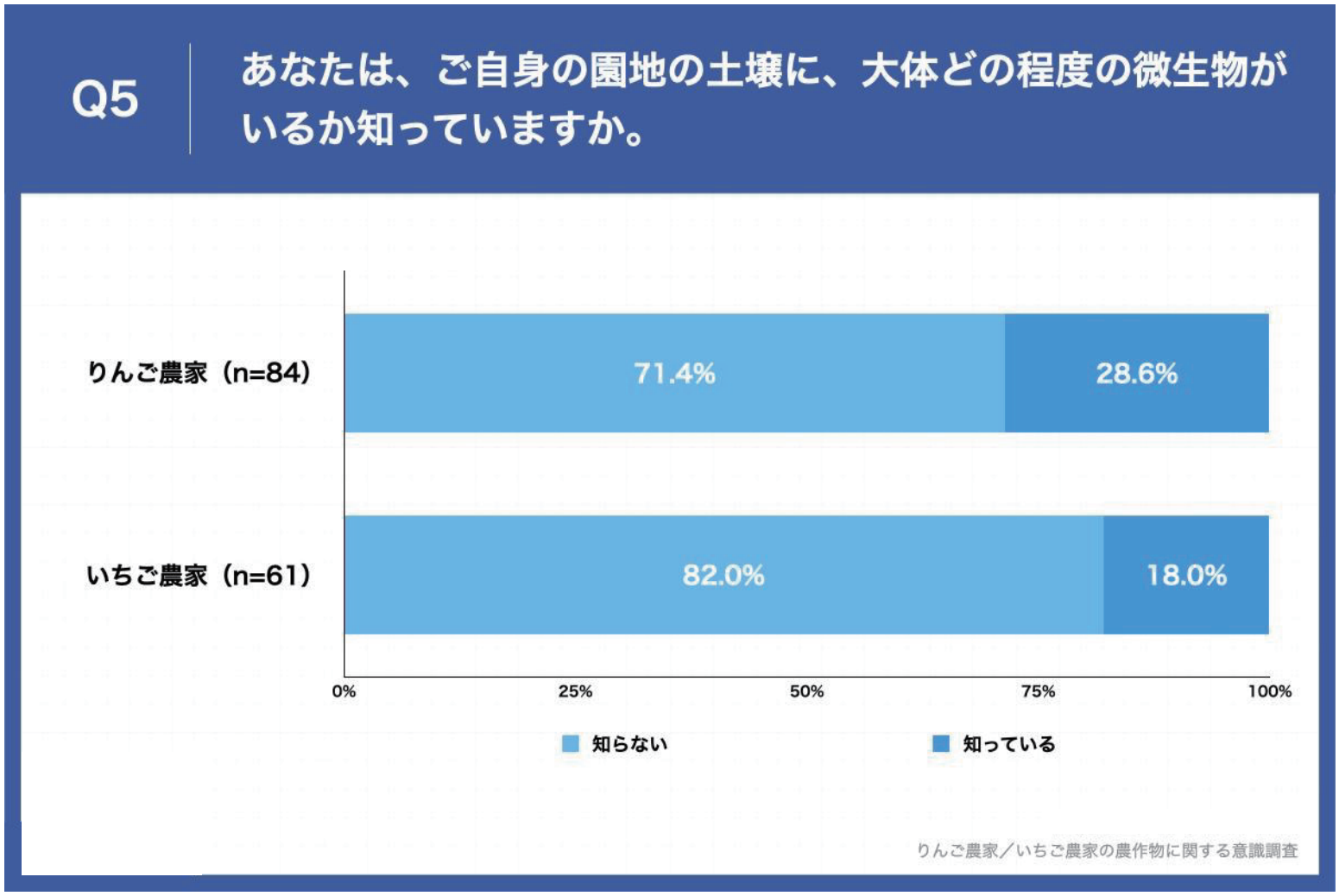
＜いちご農家（n=47）＞

- 30歳：健康的でおいしいいちごを栽培したい。
- 39歳：洗わずにそのまま食べたいから。
- 51歳：付加価値をあげるため。
- 66歳：人体への影響はほとんど無いと思うが、世の中の流れは、無農薬栽培に人気がある。
- 81歳：食の安心・安全を提供したい。
- 78歳：直接食べるから。
- 57歳：お金がかからない。
- 40歳：体に優しいから。

りんご農家／いちご農家の農作物に関する意識調査

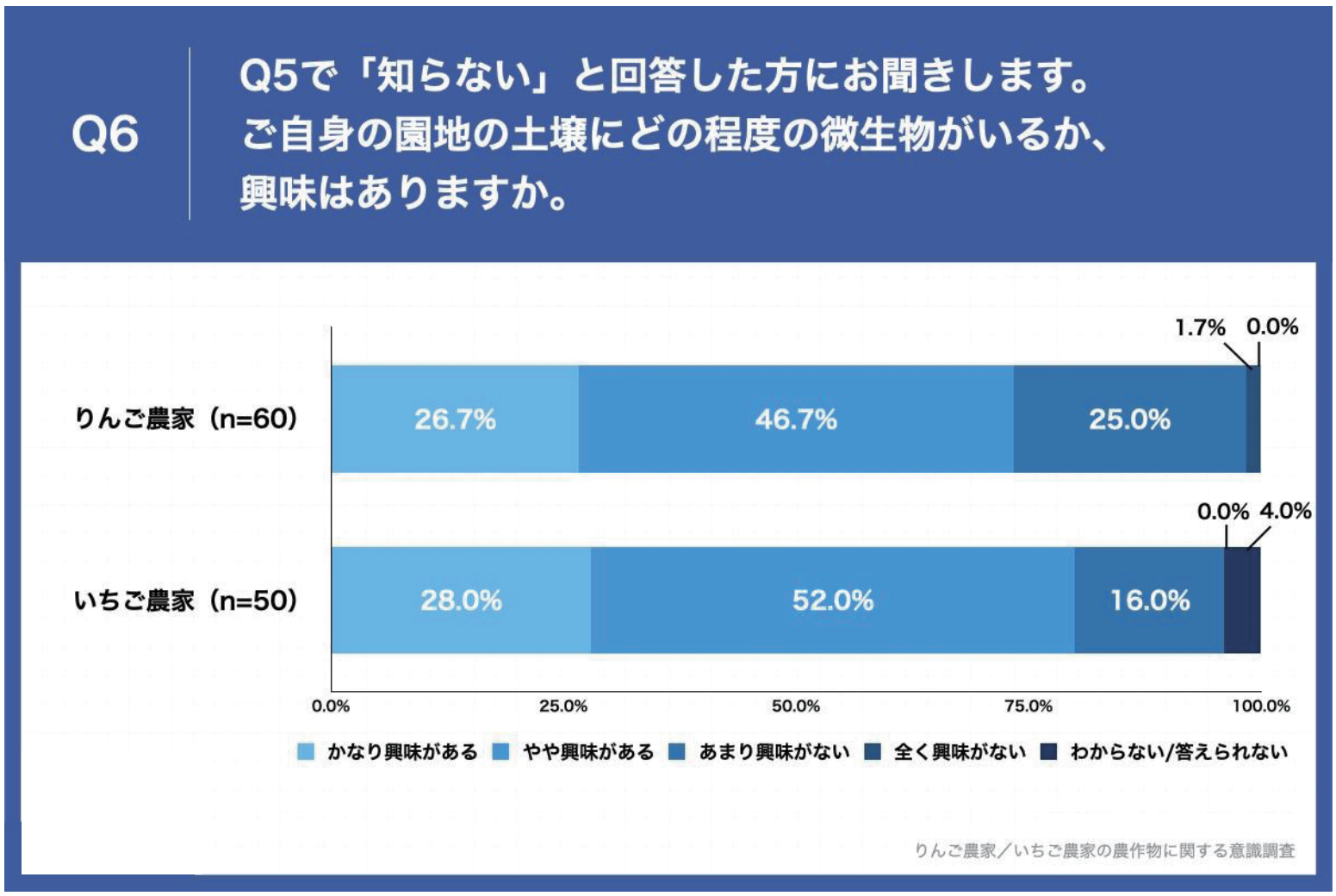
■りんご農家／いちご農家ともに、7 割以上が「自身の園地の土壌にいる微生物を把握していない」と回答

「Q5. あなたは、ご自身の園地の土壌に、大体どの程度の微生物がいるか知っていますか。」と質問したところ、りんご農家（n=84）からは「知らない」が 71.4%、「知っている」が 28.6%、いちご農家（n=61）からは「知らない」が 82.0%、「知っている」が 18.0% という回答となりました。



■りんご農家／いちご農家ともに、7 割以上が土壌にどの程度の微生物がいるか「興味あり」

Q5 で「知らない」と回答した方に、「Q6. ご自身の園地の土壌にどの程度の微生物がいるか、興味はありますか。」と質問したところ、りんご農家（n=60）からは「かなり興味がある」が 26.7%、「やや興味がある」が 46.7%、いちご農家（n=50）からは「かなり興味がある」が 28.0%、「やや興味がある」が 52.0% という回答となりました。



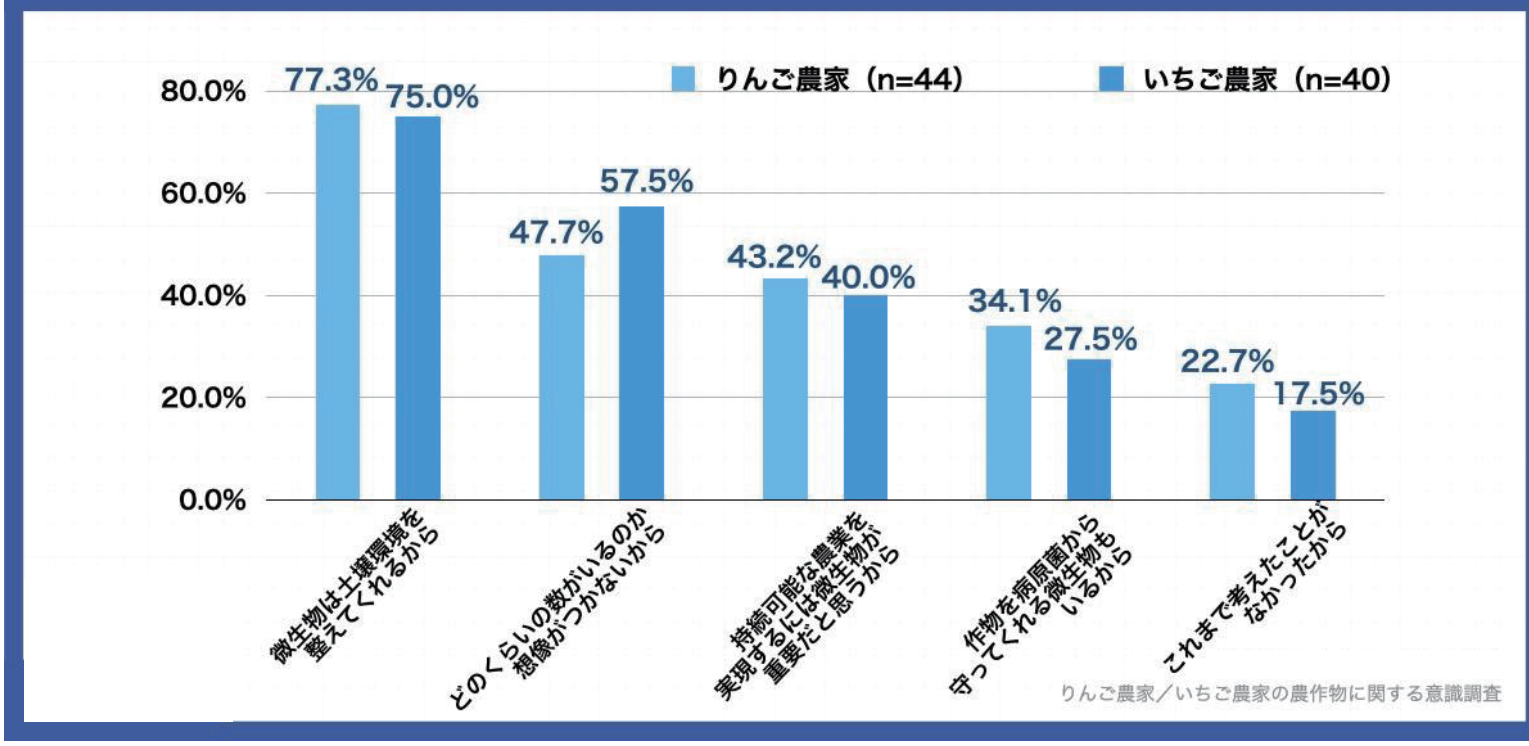
■微生物量に興味がある理由、約 8 割が「微生物は土壌環境を整えてくれるから」

と回答

Q6 で「かなり興味がある」「やや興味がある」と回答した方に、「Q7. ご自身の園地の土壌に、どの程度の微生物がいるか興味がある理由を教えてください。（複数回答）」と質問したところ、りんご農家（n=44）からは「微生物は土壌環境を整えてくれるから」が 77.3%、「どのくらいの数がいるのか想像がつかないから」が 47.7%、「持続可能な農業を実現するには微生物が重要だと思うから」が 43.2%、いちご農家（n=40）からは「微生物は土壌環境を整えてくれるから」が 75.0%、「どのくらいの数がいるのか想像がつかないから」が 57.5%、「持続可能な農業を実現するには微生物が重要だと思うから」が 40.0% という回答となりました。

Q7

Q6で「かなり興味がある」「やや興味がある」と回答した方にお聞きします。ご自身の園地の土壌に、どの程度の微生物がいるか興味がある理由を教えてください。（複数回答）



■他にも「作物の品質は土で決まる」という声多数

Q7 で「わからない / 答えられない」以外を回答した方に、「Q8.Q7 で回答した以外に、ご自身の園地の土壌に、どの程度の微生物がいるか興味を持った理由があれば、自由に教えてください。（自由回答）」と質問したところ、りんご農家（n=44）からは「りんごの品質は土から始まる」や「良い作物を作るのに必要不可欠だから」、いちご農家（n=40）からは「作物をおいしくするのに必要だから」や「土作りが、基本である」などの回答を得ることができました。

Q8

Q7で回答した以外に、ご自身の園地の土壌に、どの程度の微生物がいるか興味を持った理由があれば、自由に教えてください。（自由回答）

＜りんご農家（n=44）＞

・41歳：りんごの品質は土から始まる。
・51歳：良い作物を作るのに必要不可欠だから。
・28歳：土壌作りには時間がかかる。
・66歳：これからの農業で作物を無農薬でつくるためには、土壌改良を含めて研究する必要がある。
・52歳：土壌診断をしたが、微生物までの結果は出ないので、興味深いところです。
・56歳：どんな土壌なのか興味深い。
・30歳：微生物の働きを確認したい。

＜いちご農家（n=40）＞

・51歳：作物をおいしくするのに必要だから。

・66歳：土作りが、基本である。

・39歳：肥料の量の目安になりそうだから。

・30歳：微生物の世界を覗いてみたい。

・64歳：人を含め動植物に影響があるか知りたい。

・26歳：土壌の活性化。